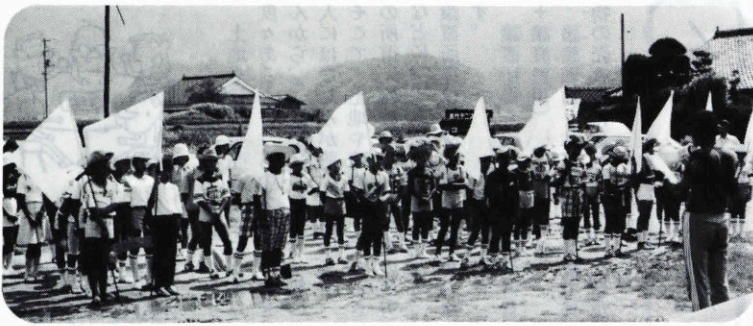


僕とてもえらかった でも楽しかった

第五回清風キャラバンより

今年「テーマに、ふみしめよう二十一キロメートル」と題しまして、第五回清風キャラバンを七月十四日、十五日の二日間にわたり教育委員会ははじめ、関係諸団体の協力を得まして、盛大無事に終えましたことを、青年団員一同心より感謝しております。



今年参加人員も増加し今年は、総勢二百名の参加人員を得ることができ、これも毎年続けて行なっているたまものだと思います。小学生の参加が多いのでありますが、御父兄の方にもいっしょに参加してみても、自分の子供のたくましく成長した姿を自分の目で確かめられる絶好のチャンスだと思います。

今後とも全町民一回は自分の足で歩いてみられることを郷土の先賢村田清風先生の遺徳を偲ぶ意味でまた、現在省エネルギー時代に突入したことを含めて、念願しております。

清風キャラバンにいつて

このキャラバンに参加するにいつては別にその意味も深くは考えていませんでした。ただ友達と楽しい時間を過ごせるのしか考えていなかったもので、二十一キロメートルの距離はよくにとつては苦しいものであったのは確かです。でも、歩き終えて「ぼくはやったんだ。」という満足感のようなものが残っています。そういう意味で、このキャラバンはよくにとつて貴重な体験であったと思います。最後にいろいろな面で指導して下さった方々、ほんとうにありがとうございます。

野波 類 佐伯 明人

清風キャラバン

私は、去る7月14日から、15日に清風キャラバンに参加しました。とてもえらくて、萩別院を出発してから、約二キロを歩いたくらいで、ヘトヘトにつかれました。「よっぱり、バス通学の私には、ちよんこと無理かな。」そんなことを口にしながら歩いていました。

三見のあたりから、足の先までいたくなってきたけど、がんばって歩きましたが、いいのあたりからは、口もきけなく、つかれていました。家についた時、足から血が出ていて、血をふきながら「清風先生は、この長い道のりを、一人で歩いてたのか。」と思ひ、先生の偉大さがわかりました。私は、清風キャラバンに参加したことを、よかったですと思います。

宗頭 大迫めぐみ

キャラバンを終えて

この春、青年団へ入団して、最初のビッグイベントである清風キャラバンを終えることができた。ともあれ、無事に終わってくれた事が今は何より嬉しい。

といいつつ、私自身、団の一員としてやった事といえば皆無に等しく、裏で動いてくれた方々には全く頭の下がる思いであり、改めて、感謝の念に耐えない。

私自身は、この度初めての参加であったが、ふみしめよう二十一キロのフレイズどおり萩から三隅までの道程はさすがにふみしめるだけであった。その間、子供達の

元気の良さに励まされ、あるいは海岸線を吹く風の快地よきに助けられ最後まで歩けた事はやはり嬉しい。

閉会式の時一人の少年が、えらばかりでありおもしろくなかった。」と正直に話してくれた。

しかし、その昔清風先生が通われたというこの道。勿論、時代も移り変わり、その概観も全く異ってしまつたであろうが、こうして歩いた時に、時の流れを超越した何かがあるように感じたのは、決して私一人ではないと思う。

そして、何らかの形で、このキャラバンが、一人一人の中にその存在を認めることができた時、もう一つの意味で、キャラバンの成功を叫ぶことができるのだと思う。

豊原 中原公子

清風キャラバンに参加して

私が本年も参加した事は清風キャラバンの目的に賛同し自分の体力をためす「ぜっこう」のチャンスと考えたわけであります。第二回以後連続四回目の参加に成りました。暑い年、小雨の年、本年の様な曇で涼しいキャラバンといろいろ有りましたが二百で約三十キロを清風先生を偲びつゝ、完歩出来た事の喜び、まだまだ歩ける自信がわいて来ました。日程、行事共毎年殆ど変りは有りませんが広く町民に参加を呼びかけ町民側も進んで参加し、小学校五、六年生と主催側、主管側、関係者だけではものたりない気が致します。青年団が如何に計画立案し実行しているか自分の子供がどの様に行動しているか実際に此の目で確かめ、歩

て見て目的に有ります。先賢を偲びふるさと意識の高揚と団体行動に於ける相互の親睦と各自の体力づくりによって明るく住みよい町づくりこそ必要でありましょう。最後に成りましたが主催側及び主管たる青年団各位の並々ならぬお骨折りに深甚なるお礼と敬意を申し上げますと共に今後ますます発展を祈念致します。なお清風健歩クラブの御参加誠に有難く盛会でした

市 堀 光太郎

二回の清風キャラバンに参加して

炎天のもと、今年も清風キャラバンの季節が訪づられて……夏が来ますとフト身近に感じるキャラバン昨年今年二回健歩クラブから参加やる気充分でも、ついてゆけない体力、今年も玉江二十一キロメートルチャレンジ……と……自信なく三田神社から出発。舗装道昔デコボコ道、草鞋履、遺徳を偲べば古今の感一入。今年も涼しくて小学生の皆さんコロコロと元気。遅ましくやさしい青年団員、車通過の度大声で「危いぞケレヨ!!」健歩もつられて「ヨケレヨ!!」と黄い声、キャラバンは続きます。賑やかだった学生の皆さん昨日からの緊張からか二十キロメートルあたりで少し無口その後姿の可愛らしさ、でも皆さんいい思い出がのこりますよ頑張つて……無事ゴールイン。美味しいオニギリ炊いて下さった婦人会のお母さんありがとうございます。来年もまた参加出来たらと願っています。

土手 岡本千代子